

◆ [1] リノベーションの成功事例

まち全体がホテルとしての取り組み

篠山城下町ホテル NIPPONIA



明治前期に建てられた元銀行経営者の旧住居をリノベートした、篠山城下町ホテルNIPPONIA最大の棟でフロントやレストランダイニング機能を有します。虫籠窓（むしこまど）や格子、レトロモダンなガラス戸など、篠山城下で花開いた芸術的な建築デザインが随所に残っていることから「景観重要建築物」第一号に認定されました。

◆ [1] リノベーションの成功事例

まち全体がホテルとしての取り組み

篠山城下町 ホテル NIPPONIA

兵庫県篠山市の江戸時代に建築された古民家5軒を改装し、複合商業施設として2015年10月3日にオープン。城下町跡を取り込むように、複数の古民家を客室とし、城下町全体をひとつのホテルと見立てる構想のプロジェクトとして誕生しました。建築の歴史性を尊重しながら、地域で暮らすことの豊かさを実感できる場を作り、地域の食文化、生活文化を復刻すると共に、訪れる顧客に「篠山の暮らし」の豊かさを自然なカタチで体験していただくことを目的としています。

経緯

オープン：2015年10月
※当初客室：4棟11室
2016年8月：1棟1室増床

事業

- ・宿泊
- ・レストラン
- ・宴会
- ・婚礼

スペック

ONAE棟：客室5室・レストラン40席・個室1室
SAWASIRO等：客室3室
NOZI棟：客室2室
SION棟：1棟貸切
障子庵：客室1室



■ONAE棟

明治前期に建てられた元銀行経営者の旧住居をリノベート。景観重要建築物、第一号に認定。

■SAWASIRO棟

創建は明治前期ながら、吹き抜けが開放的な土間は、江戸時代後期の建物の梁や柱が使用されています。

■NOZI棟

国の伝統的建造物群保存地区に選定され河原町に位置し、江戸末期に長屋として建築された建物。

■障子庵

約40年に渡り日本の伝統産業を支える職人たちとコラボレーションしてきた日本を代表するデザイナー、喜多俊之氏プロデュース。

■SION棟

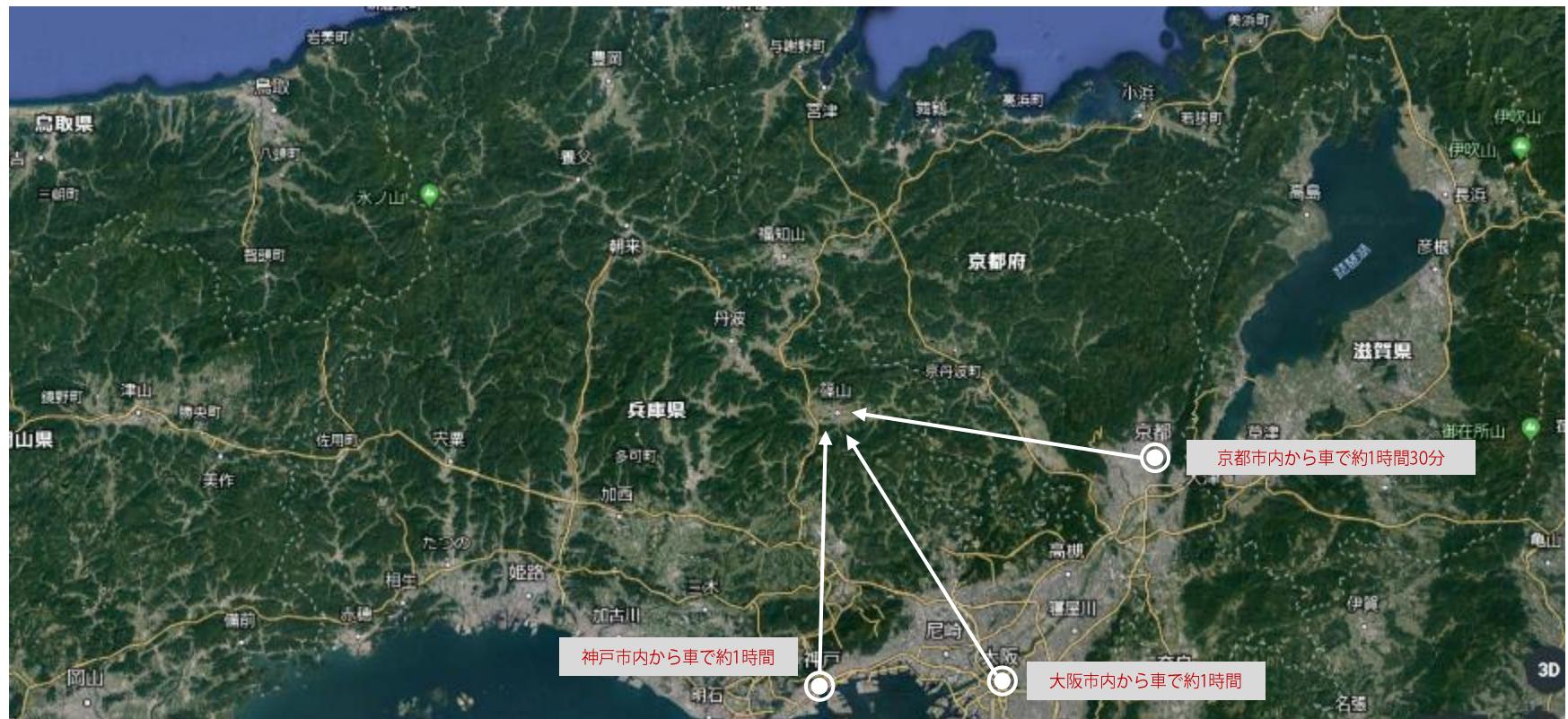
日本家屋の佇まいを残して現代風に改装されたキッチン完備の二階建て日本家屋を一棟貸し切りとして利用。

◆ [1] リノベーションの成功事例

まち全体がホテルとしての取り組み

篠山城下町 ホテル NIPPONIA

所在地：兵庫県篠山市西町25番地 ONAE棟（フロント・レストラン棟）

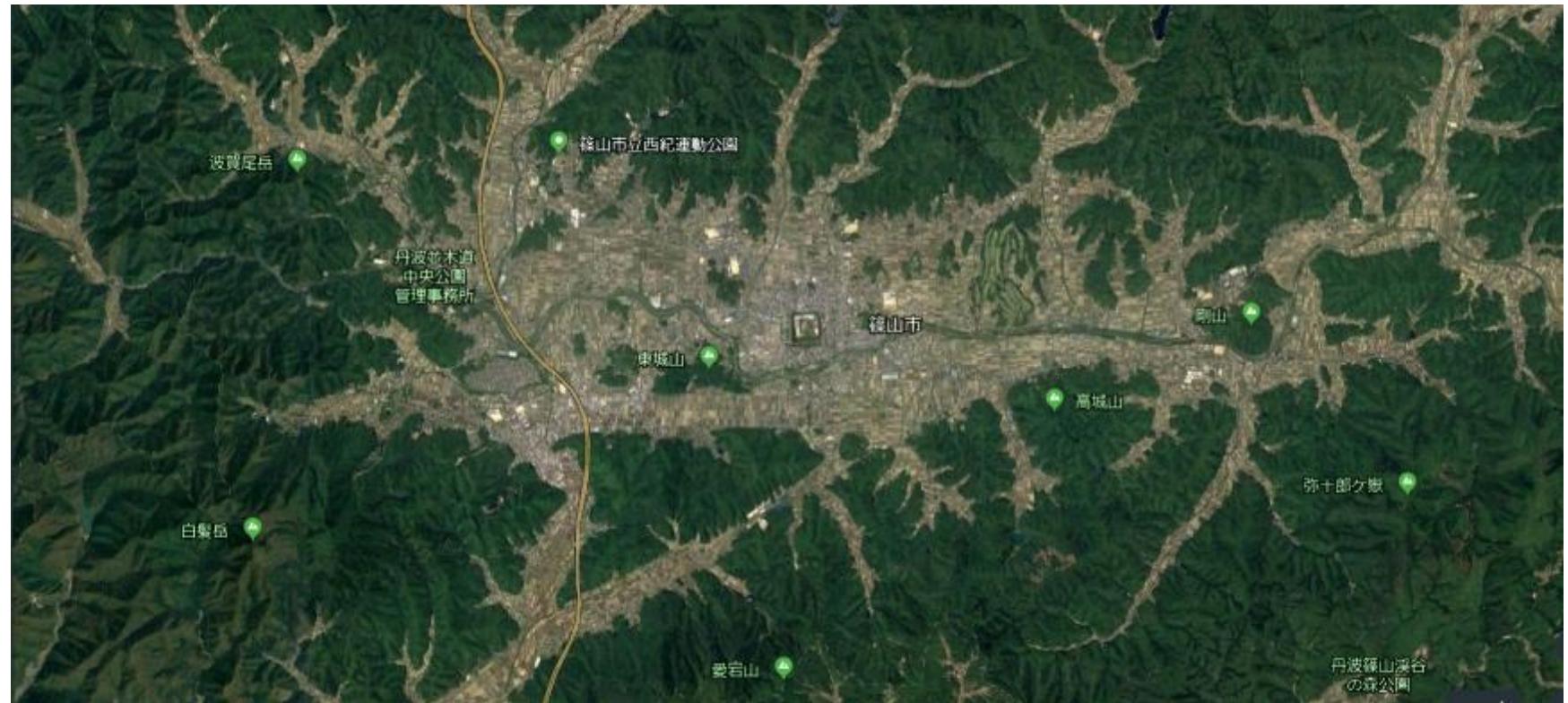


◆ [1] リノベーションの成功事例

まち全体がホテルとしての取り組み

篠山城下町 ホテル NIPPONIA

所在地：兵庫県篠山市西町25番地 ONAE棟（フロント・レストラン棟）



◆ [1] リノベーションの成功事例

まち全体がホテルとしての取り組み

篠山城下町ホテル NIPPONIA

所在地：兵庫県篠山市西町25番地 ONAE棟（フロント・レストラン棟）



2018年、篠山城下町ホテルNIPPONIAは5棟から10棟になる予定。

 [1] リノベーションの成功事例

まち全体がホテルとしての取り組み

篠山城下町ホテル NIPPONIA



ONAE棟1階のレストランダイニング。畳敷きだった部屋を障子や襖は当時のままにフローリングに改装。「テロワール・ナチュール」を料理コンセプトに、日本海で採れる新鮮な海の幸や、食の宝庫丹波篠山の地元食材などをフランス料理の技で仕上げて提供。宿泊客だけでなく、地域の方のハレの日の利用などでも人気となっています。

 [1] リノベーションの成功事例

まち全体がホテルとしての取り組み

篠山城下町ホテル NIPPONIA



ONAE棟1階のレストラン入り口付近に竈が当時のまま残っています。リノベーションのテーマは「文化を紡ぐ」であり、その施設が持つ魅力を最大限に引き出す事を基本に考えているため、日本の暮らしの文化をそのままに活用。ご年配の宿泊客からは「懐かしい」との声も。それもまたこの施設に泊まる魅力の一つとなっています。

 [1] リノベーションの成功事例

まち全体がホテルとしての取り組み

篠山城下町ホテル NIPPONIA



ONAE棟をはじめとする全客室が建替える事なく、既存の部屋を客室に改装。この町の住人になれる
「暮らすように泊まる」をコンセプトにしたNIPPONIAは、テレビやオーディオ設備等ではなく、昔の
日本の暮らしを体験するかのよう。写真は蔵を改装したロフト付きの部屋。快適さとなつかしさが同
居するのがNIPPONIAの客室の特徴。

◆ [1] リノベーションの成功事例

[2] リノベーション成功事例

まち全体がホテルとしての取り組み

篠山城下町ホテル NIPPONIA



重要伝統的建造物群保存地区に選定された河原町の古民家を再生したNOZ棟。二つの客室はそれぞれ個別の入り口から入る仕様に。他の棟同様もともと持っていた施設の魅力はそのままに、モダンに仕上げられています。暖簾にプリントされたNIPPONIAのロゴは、このエリアの古民家の特徴である虫籠窓や格子をモチーフにしたもので、日本を代表するデザイナー・喜多俊之氏によるもの。